

令和7年度久留米市邦楽振興事業

箏曲のふるさと久留米

春を彩る 邦楽のしぐら

令和8年

日時
3月20日(金・祝)

開場13時 開演14時

会場
石橋文化ホール

(久留米市野中町)

料金
無料

お箏のワークショップ

開場中に会場内で開催！
この機会にお箏に触れてみてください。



出演者

川瀬 露秋

(くるめふるさと大使)



特別出演

藤井 泰和



曲目

八島

やしま

御山獅子 他

久留米三曲協会

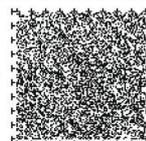
深海 あいみ

銀明会九州支部
有志会員

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地
Tel 0942-33-2271 Fax 0942-39-7837
www.ishibashi-bunka.jp

■主催:久留米市 ■共催:公益財団法人久留米文化振興会

携帯電話対応
音声コード



楽しみと幸福の時間。
石橋文化センター

出演者プロフィール



(くるめふるさと大使)
川瀬 露秋
かわせろしゅう

久留米市出身。7歳より箏・三絃を三原幽香に師事。生田流箏曲、九州系地歌・箏曲白秋会の家元川瀬白秋の内弟子となり、同時に九州系地歌の井上道子にも師事。1982年、中学卒業後、15歳にて上京。1988年、小林露秋の名を許され、多数の演奏会に出演する。また歌舞伎における黒御簾演奏、長唄、常磐津、清元、義太夫、能など古典から新作まで数々の箏・胡弓の編曲、舞踊の地方を国内外で務める。2009年、川瀬白秋の養女となる。2011年、川瀬露秋改名披露。白秋会50周年記念演奏会(国立劇場)にて、竹本駒之助氏による「壇の浦兜軍記～阿古屋」を演奏し、改名披露。2012年、文化庁補助事業「伝統長唄伝承の会」にて「初雁傾城」の胡弓演奏。2013年、京都南座・市川海老蔵公演「源氏物語」箏の楽曲創作を担当。2014年、京都南座、熊本八千代座にて、坂東玉三郎特別公演に参加、胡弓演奏。藤井泰和とアメリカシアトル地歌公演に参加、演奏。2015年、「くるめふるさと大使」就任。2017年、アメリカ・モデスト市との姉妹都市締結二五周年を記念し、市長とともに久留米市より派遣され、文化交流として箏や三絃を披露。久留米シティプラザ・久留米座にて、川瀬露秋プレゼンツ・邦楽コンサート「和の調べ」を開催し、箏、地歌、胡弓の演奏を披露。2018年、箏曲のふるさと久留米「春を彩る邦楽のしらべ」に、藤井泰和氏とともに出演。現在、藤井泰和に師事し、九州系地歌の研鑽に励みながら、舞踊の地方、歌舞伎音楽の演奏や作曲に携わるなど、三曲のみならず幅広い活動を国内外に行っている。また、若手歌舞伎俳優や白秋会後進への指導を積極的に行うなど九州系地歌・箏曲、胡弓の普及に努めている。「創造する伝統賞」受賞(2014年)。「第20回日本伝統文化財団賞」受賞(2016年)。「第39回伝統文化ポータル賞奨励賞」受賞(2019年)。「第46回松尾芸能賞優秀賞」受賞(2025年)。(公社)日本三曲協会理事。生田流協会常任理事。白秋会会長。



特別出演者
藤井 泰和
ふじい ひろかず

祖母阿部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に箏と三絃の手ほどきを受ける。東京藝術大学卒、同大学院修了。1986年、NHK邦楽オーディション合格。同年より現在まで国際交流基金、文化庁などの派遣により、海外公演を多数行う。1989年、フラメンコ舞踊家小松原庸子氏とスペインマドリッドにて共演。1990年、スペイン・セビリアより国際弦楽器フェスティバルに招待される。1993年、「第一回藤井泰和地歌演奏会」を開催。現在まで31回開催。2000～2001年、坂東玉三郎特別公演に全国各地で出演。2002年、ライブ形式の「地歌の会」を全国各地で開催、現在まで34回開催。2006年、銀明会三代目家元を襲名。同年バイオリニスト千住真理子氏と「春の海」を共演。2011年、日・独交流150周年記念行事で「藤井泰和地歌公演」をドイツ各地で開催。2012年、米全国各地にて「歌舞伎ダンス公演」出演。2014年、シアトルにて「藤井泰和地歌公演～Voice of longing～」を開催。ニューヨーク他で「江戸と京阪の三味線音楽の真髓」公演出演。2017年、久留米シティプラザ・久留米座にて、川瀬露秋プレゼンツ・邦楽コンサート「和の調べ」へ出演。第1回箏曲のふるさと久留米「秋を彩る邦楽のしらべ」に出演。以降、毎回出演を続ける。2021年、「創立九十周年記念銀明会箏曲地歌演奏会」を開催。2024年、第30回「藤井泰和地歌演奏会」を芸歴60周年、開軒40周年記念演奏会として開催。その他自身のリサイタルを毎年開催、ライブ活動や国内外での演奏活動、TV、FM放送、CD録音、舞踊地方などで高い評価を受けるほか、全国各地の稽古場で後進の指導に当たっている。福岡県知事賞、文化庁芸術祭新人賞、優秀賞、芸術選奨・文部科学大臣賞、日本芸術院賞各受賞。紫綬褒章受章。(公社)日本三曲協会、生田流協会各常任理事。二十一世紀邦楽の会顧問。CD制作「藤井泰和の三弦」(作品I、II)、「藤井泰和の松浦四つ物」、「松・ことほぐ」、「獅子・ささげる」、「面影・しのぶ」他。



深海 あいみ
ふかみ あいみ

幼少より箏、中学生より三絃を母 深海さとみに師事。中学生より箏組歌、後に山田流箏曲を鳥居名美野に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲専攻卒業。同大学院修士課程修了。学部在学中、宮城賞受賞。宮内庁主催皇居内桃華楽堂にて御前演奏を務める。宮城道雄箏曲コンクール児童部門第1位受賞。利根英法記念邦楽コンクールアンサンブル部門奨励賞受賞。平成28年度文化庁新進芸術家育成事業研究生。NHK-FMラジオ「邦楽百番」「邦楽のひとつとき」等出演。箏とピアノの創作ユニット「創・箏」メンバーとして定期的に公演を行う等、現代作品にも積極的に取り組む。宮城社師範。深海邦楽会主宰。上野学園短期大学非常勤講師。



久留米三曲協会
くるめさききょうかい

久留米三曲協会は、箏、三絃、尺八による邦楽の振興と普及向上、また久留米市を中心とした地方文化の発展に貢献をしております。箏曲発祥の地である久留米市の三曲協会として何百年と続く古典曲そして現代曲、両方の魅力を伝える定期演奏会を毎年開催し、昨年は第61回を迎えることが出来ました。現在11名の教授者とその社中の皆様が三曲協会会員となっております。

会場

石橋文化ホール

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015
TEL:0942-33-2271 FAX:0942-39-7837

会場への
アクセスはこちら!



これまでの演奏会の様子はこちら!

石橋文化センター
公式
YouTube



「箏曲発祥之地」記念碑(善導寺)



大本山善導寺(久留米市善導寺町)

近世箏曲の源流である「筑紫箏」を作り出した善導寺の僧 諸田賢順

箏曲の創始者として高名な鎮西大本山・善導寺の僧 賢順(二五三四～一六三三)は、少年の頃から中国の七弦琴や善導寺の寺写楽を修め、筑紫箏を編み出した。その後、高弟の一人である法水(ほつすい)が、江戸へ行き、三絃の名手である八橋檢校(やつはしけんぎょう)にこの筑紫箏を伝授しました。八橋檢校は、これをさらに改調編曲して、今日の生田流・山田流に受け継がれ、善導寺は「箏曲発祥の地」、久留米市は「箏曲のふるさと」と言われています。